

植林作業体験事業が始まりました

森林作業体験事業が始まりました

第1回の9月25日(日)のコースでは、参加者が少なく6名でした。内訳は境港市5名、南部町1名。米子市からは参加がありませんでした。連休でもあり他の多くの行事が重なったことや稲刈り時期ということもあって、問い合わせも少なく心配しておりましたが、やはり当事業の周知されていないことがその理由であったと反省しております。9月に入り、両市の経済界などの訪問や、郵送によるチラシ配布の取り組み、また、ジャスコにもチラシを置いていただくなどして、PRしており、次回以降については、是非とも50人規模で実施したいと考えております。行政関係については、去る8月に後援依頼とあわせ事業協力をお願いしに両市長を訪問しましたが、境港市では直ちに後援の決定をしていただき、PRについても公民館へのチラシ配布とともに市報への掲載など、ご配慮いただいたものです。また、西部圏域町村宛にもチラシ配布等の依頼を行っているところです。

さて当日は地元側のサポート体制は理事長以下7名。

参加者は60才代の方で、前半の1142mの船通山登山に心配されていましたが、途中途中の森林学習がてらの休憩やわき水(金銘水)の地点での休憩など挟み、ゆっくりペースで頂上に達することができました。当日は快晴に恵まれ、三瓶山~島根半島~大山~花見山~鬼林山と、360度の雄大な景色を堪能できました。

頂上での昼食を挟み12時過ぎから下山、13時20分頃に麓にたどり着きました。

その時点では疲労の色も見えてきておりましたが、バスで植林場所に移動し、その場に立って船通山の遠景を見、達成感も感じられたのか、その後の1時間ほどの植林作業では100本のヒノキ苗を植え付けることができました。

最初に植え付けの仕方・注意点(ヒノキには裏と表がある)などを実地指導を受け、主に男性が穴掘り作業、女性が苗木運搬と植え付け作業を行いスムーズに一定の区画を植えることができました。

最後に表示看板を立て込んでその前の記念撮影。

帰路のバスでは、「有意義な一日であった、成長するのが楽しみ」と、初めて日南町を訪れた女性はお話しされていました。

今後3回の作業がありますが、一回50人規模では終えることができそうになく、臨時開催も検討したいと考えているところです。

小誌をご覧いただいている60才代のかたがたは、小学生時代に植林作業の経験のある方も多いと思います。その経験をふるさとの山でもう一度発揮されてはいかがでしょうか。

ご家族での参加もお待ちしております。

